

【目 標】 「やつぎを愛し 自律と貢献の志をもった児童生徒の育成」

八次コミュニティ・スクール だより

《No.4》 令和7年6月1日

「八次コミュニティ・スクール」学校運営協議会 会長 佐島 澄夫

子どもの学び応援団！

子どもたちを温かく見守っていただいている「子どもの学び応援団」の方から、素敵なメッセージをいただきましたので紹介します。

児童・生徒

地域等

保護者

学 校

新1年生 朝の見守り（小学校）

入学式では少々緊張気味で、周りをキョロキョロ見たり、友だちとおしゃべりしたり、不安で泣いてしまうなど、いろんな姿を見せてくれた1年生。さて、一人での登校初日、「置きカサはどこ？」「靴はどこに入れるん？」など、ピカピカのランドセルを背負って、玄関は大混乱。一人ひとりに声をかけながら、教室へと上がっていく。「ランドセル、重たいよ〜」（たしかに〜）、「見て見て、このふでばこ〜」など、可愛い声が教室に響きます。

子どもたちは登校すると、たくさんすることがあります。帽子をかける。青いファイルからプリントを出す。連絡ノートを出す。ランドセルをしまう。などなど……。担任が来られるまでの短い時間を見守りサポートし、子どもたちと一緒に過ごします。少しずつ一人でできることも多くなり、見守る中で子どもたちの成長の頼もしさを感じ、朝から元気をもらっています。



茶道クラブ活動（小学校）

平成25年からご縁があって、わが子が卒業した八次小学校へお茶の指導というより、お手伝いに月1回通っています。1回が50分足らずの短い時間に、お菓子を運び、お抹茶を点ててお友達に頂いてもらっています。自分で点てたお茶をクラブの仲間においしく飲んでもらえることが、とっても楽しいようです。

和室もなくゴザを敷いた中での活動ですが、入室の時、元気よくあいさつをしてくれ、上履きを注意もしないのに、きれいに揃えてくれます。お茶の感謝の気持ちが少しずつ理解されているようです。お点前の順番までは、なかなかできませんが、まず楽しくおいしい抹茶が立てられたらと思って、活動しています。



「学び応援団」の皆様、本当にありがとうございます。子どもたちの笑顔が増えます。